

つくば研究コミュニティの可視化と連結

Connecting researchers, research communities and supporters to Ignite "chemical reaction"

目的 Purpose

つくばでイノベーションを継続的に創出するために

— 新しいアイデア・人・資金を集めるのは「人のつながり」

- 研究コミュニティの可視化 → 研究者同士の化学反応を引き起こす
- 連結させるための研究支援人材ネットワークを構築する

To continually innovate in Tsukuba, we need visualizing a myriad of research communities to ignite "chemical reaction", setting up research supporters' network to help the ignition.

概要 Outline

- 研究コミュニティを一覧するウェブシステムで「研究者に会える」つくばへ
- 異分野融合ワークショップ・シンポジウムでの出会いからプロジェクト創成、研究資金獲得までを研究支援者ネットワークでサポート ~アフターケア~
- Our multidisciplinary workshop is not a one-time chat whose contents easily dissipate.
- We help spoken ideas consolidate to a funded inter-institutional collaboration.

研究連携見える化プラットフォーム TREE

TREE(Tsukuba Researchers Explorer) visualizes activities of research communities

新しいアイデア・人・資金を集めるのは「人のつながり」
研究機関にとらわれない情報発信ツールが
これまでの研究者の「どうしたら？」を解決

- つくばに赴任するけど、どこへいけば仲間と出会える？
- 分野の違う研究者にアイデアをきいてほしい
- ウェブサイトを毎週更新するほどネタがない！
- 所属機関が複数のコミュニティ。情報発信はどこから？
- 他の研究分野・他機関の人にもイベントのお知らせがしたい

見えなかった研究者の活動が見える。
情報が集まる、探せる。
使えるデータベースになる

研究者・研究支援職・大学院生…
ターゲットを絞ったイベント情報
が一気に表示されると
情報を出す/探す双方にメリット

コミュニティが
簡単に情報発信
できる。今まで
と違う分野の人
とのつながりも
期待できる

コミュニティが発信する
最新「トピックス」。
投稿が多いほどアクティ
ビティが高い！

今後の展望と課題

- TREE : 登録コミュニティとユーザーを増やし「つくば研究民の標準化」へ発展を目指す
- アフターケアを共に実施する仲間「研究支援情報ネットワーク」の活性化

異分野融合シンポジウム「つくばスパイラル」

From interdisciplinary workshop to a project building and securing grants

接点の少ない異分野の研究者を「未来都市つくば : Future Dome City」をキーワードに集めた研究交流を実施。
新しいコラボレーションで合わせ技ファンドを獲得。

Tsukuba Future Dome Symposium

筑波大学、KEK、農研機構の研究者の新しいコラボレーション形成につながった。研究資金の公募紹介、申請にはURA(研究支援職)のアフターケアを実施。



研究支援者ネットワークが研究者をつなぐ

Supporters' network helping researchers start collaborations

つくばに所在する研究機関職員が自分の仕事に使える情報を交換するネットワークを形成。



つくば研究支援情報交換会

- イベント企画者の所属機関 筑波大、KEK、産総研、農研機構、JST
- 参加者数 : 計80人
- テーマ
1) つくば連携に使える資金
2) H30年度科学技術予算